議会中継システム

VidiGo CC

放送品質のテロップを実現し
タッチパネルでコントロールできる議会中継システム

特長

実績の高い“VidiGoエンジン”で放送クオリティのテロップを実現

海外のTV放送・ビジュアルラジオ放送でも実績のあるVidiGo社の”VidiGoエンジン”を搭載。放送クオリティのテロップ表示を可能にします。

タッチパネルによる直感的な簡単操作を実現

全ての操作をタッチパネルで簡単に実行できます。直感的に操作できる分かりやすいインターフェースを採用しています。

事前準備や議会中の追加入力も簡単

議事進行内容などを、テキストファイルとして一括で取り込めるため、事前の準備に関わる時間を大幅に短縮できます。また、ライブ中にテキストの追加や修正も可能です。

事前のカメラワーク設定も可能

登録（プリセット）によってカメラワークを設定できます。ライブ中の微調整も簡単に行えます。

各社マイクシステムとの連動

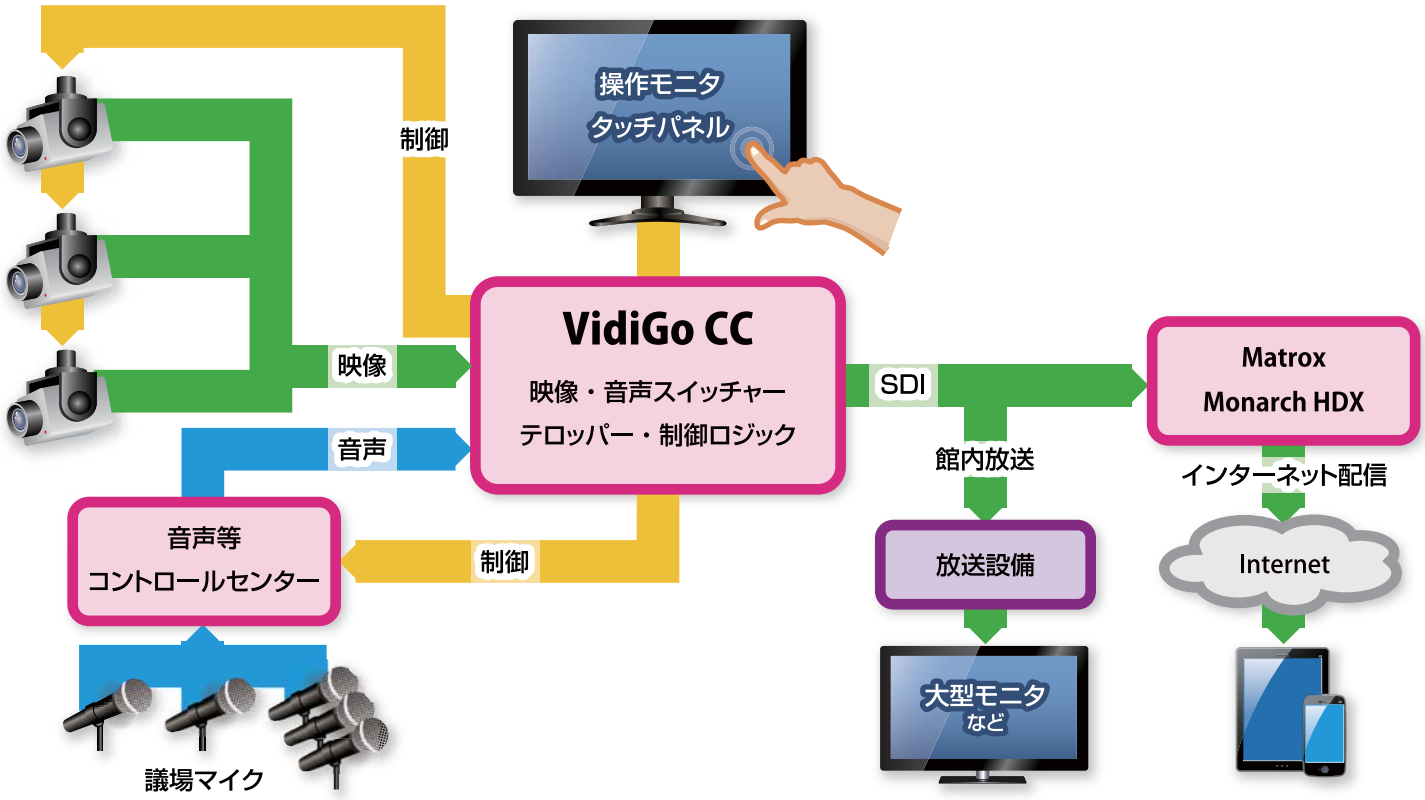
Televic社など各社のマイクシステムと連動でき、従来の議場システム構成にVidiGo CCを柔軟に追加できます。

Council 議会
Control 制御
Captioning 情報
Communication 中継

標準構成

・VidiGo CCシステム（デスクトップ型）
・タッチパネルモニター
・カメラ入力 HD－SDI 3系統（ネットワーク経由でのリモート・コントロール制御対応）

・オプション：
Matrox社のMonarch HDXとの連携が可能。
Ustreamネット配信サービスから、スマートフォンやPCなどに中継可能です。



＜VidiGoの製品ラインナップ＞

STUDIO AUTOMATION VIDIGO
完全ソフトウェアベースのスタジオ オートメーションシステム

LIVE VIDIGO
一体型マルチカメラソリューション
"VidiGo Live"

＋

LIVE ASSIST VIDIGO
番組進行の完全自動化を実現するアプリケーション
" VidiGo Live Assist"

GRAPHICS VIDIGO
放送グラフィックスアプリケーション
"VidiGo Graphics"
Adobe Flash Professionalをはじめ Illustrator, Photoshopなどで作成したグラフィックスをオンエア用にレンダリングできます。

TOOLBOX VIDIGO
デスクトップキャプチャーツール
"VidiGo Toolbox"
YouTube, Google Earth, Skypeなどの WEBコンテンツやその他のPC用コンテンツをキャプチャーしてオンエアできるソフトウェアベースのキャプチャーツール

VidiGo社について
PCなどの標準ハードウェアとソフトウェアのみで動く世界初のAVワークフローを提供するVidiGoは，先見的なテクノロジーにより，約10年にわたって放送業界をリードしてきました。すべてのワークフローの中核として，社内で開発した機能豊富で低レイテンシーの映像エンジン"DAVE"を搭載しており，自動化や柔軟性，拡張性を重視し，放送制作をより速く，より簡単に、より低コストで実現します。

【日本総代理店】ジャパンマテリアル株式会社　グラフィックスソリューション事業部　グラフィックスソリューション部
〒160-0023　東京都新宿区西新宿6-12-1西新宿パークウェストビル8F
TEL 03-5323-0820 / FAX 03-5323-0821 E-mail: sales-video@j-material.jp URL www.jmgs.jp（グラフィックスソリューション部専用）
※記載されている内容は予告なしに変更される場合があります。※記載された商品名は各社の商標または、登録商標です。